

第十一回気象文化大賞 受賞者（国内・アジア・太平洋）

一般財団法人 WNI 気象文化創造センターでは、国内・アジア太平洋地域における気象の減災・自助・共助、経済的利用、環境問題などをテーマとした実用・実践的な研究活動について表彰・助成しております。

本大賞では 2021 年 2 月~4 月にかけて公募し、選考委員会（東京大学中須賀真一氏を選考委員長とする）による厳正かつ公平な審査のもと、助成先を決定いたしました。本大賞の結果を次に示します。

受賞者	所属機関	テーマ	助成額
瀧本家康	宇都宮大学 共同教育学部	ICT を活用した雨滴の終端速度についてのモデル実験開発と試行実践	75 万円
岩崎博之	群馬大学 共同教育学部	気象衛星ひまわり赤外多波長データを用いた落雷予測のための基礎研究	100 万円
伊藤優香	個人	飛行機雲の発生・消滅について	80 万円
岩嵯利勝	高岡市立 中田中学校	気象情報や防災情報の具体的な活用方法を身につけた中学生が、主体的に行動することで、気象災害から身を守ることができる地域を育てる活動	30 万円
Dr. C Krishna Mohan	CKM VIGIL Private Limited	Study of Deep Learning algorithms for adverse weather conditions 悪天候のための深層学習アルゴリズムの研究	60 万円
山下幸三	足利大学工学部	雷雲内の電荷量・電荷高度の変動検出による落雷発生 の短時間 予測	100 万円
吉田将司	サレジオ工業高等専 門学校	学内温熱環境観測用センサネットワークを利用した学習環境の快適度調査	60 万円

Toshiyasu NAGAO	Laboratory for Environmental Research at Mount Fuji, Certified NPO Mount Fuji Research Station	Geomagnetic monitoring for predicting volcanic eruption at Mt. Fuji. 富士山の火山噴火を予測するための地磁気モニタリ ング	300 万円
山崎政彦	認定 NPO 法人大学 宇宙工学コンソーシ アム (UNISEC)	地震先行電離圏変動現象検知のための CubeSat のエ ンジニアリング・モデル製作：衛星バス・サブシステ ムの統合	100 万円
吉川契子	静岡県立 静岡城北高等学校	過去に水害に見舞われた地域の高等学校における気 象教育の推進	80 万円
Masashi KAMOGAWA	Division for Earthquake Prediction Research, Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka	Development of Electric field and plasma probes mounted on 6U Cube Sat for observing atmospheric and space electricity for the earthquake prediction. 地震予知のための大気および宇宙電気を観測するた めの 6U キューブサットに搭載された電場およびプラ ズマプローブの開発	250 万円
Yuichi Ono	Professor, 2030 Global DRR Agenda Office, International Research Institute of Disaster Science (IRIDeS), Tohoku University	Research to develop a strategy to reduce wind-related disaster risks caused by severe local storms in Bangladesh バングラデシュの激しい局地的な暴風雨によって引 き起こされる風関連の災害リスクを減らすための戦 略を開発するための研究	300 万円